

ワクワク はこね温泉 第 2 回「箱根湯本温泉」

菊川城司（神奈川県温泉地学研究所）

はじめに

箱根火山のめぐみによって生まれた箱根温泉について、シリーズで紹介する 2 回目です。今回は、箱根二十湯のうち、箱根の玄関口である箱根湯本温泉のおはなしです。

箱根湯本温泉の歴史

箱根湯本温泉は、箱根のなかで最も古い温泉場です。

「湯本」、「湯元」という言葉は、読んで字のごとく「湯のもと」という意味で使われ、全国の多くの温泉地で「湯本温泉」や「湯元温泉」という名称を見かけますが、歴史の古い温泉場に多い名称です。

箱根湯本温泉は、奈良時代である 738 年（天平 10 年）に釈浄定坊によって発見されたと伝えられています。この温泉は、総湯（惣湯）と呼ばれ、現在でも利用されており、すぐそばには温泉の鎮守として熊野神社が祭られています。また、神社の裏手にはいくつかの横穴が掘られ、そこから湧出する温泉も利用されています。惣湯（総湯）のあたりは湯場（ゆば）と呼ばれ、早川と須雲川のちょうど合流地点に位置します。ここを中心に箱根湯本温泉は発達してきました。

神奈川県内の源泉は、県が管理する温泉台帳にすべて記載されています。温泉台帳は昭和 5 年に整備されました。地域名はそのときの行政区画によって決められています。箱根湯本温泉の源泉は、塔之沢温泉と

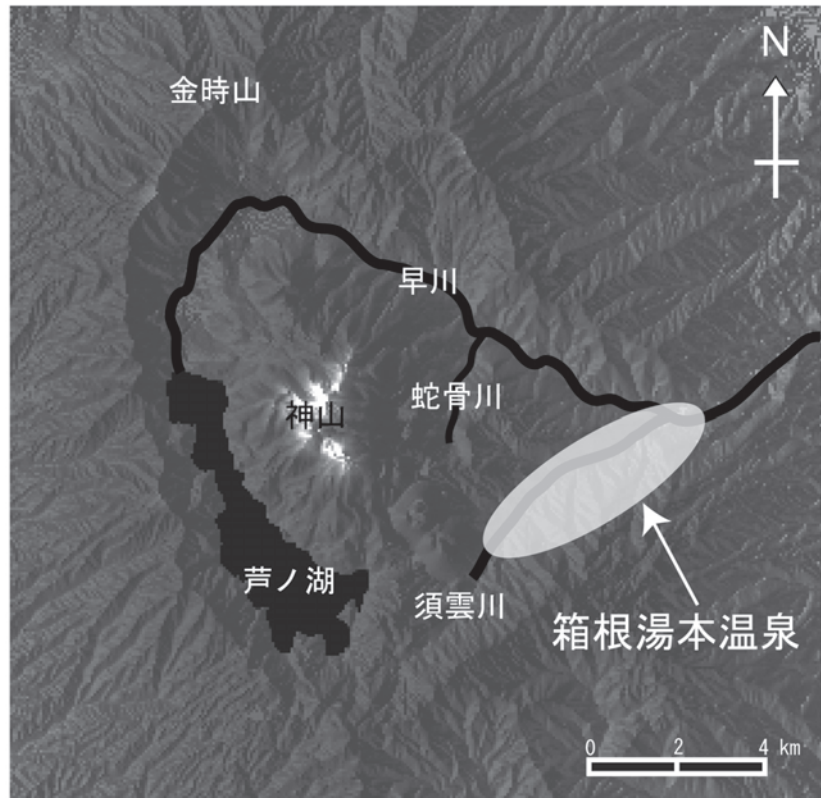


図 1 箱根湯本温泉の位置。箱根カルデラの東端にあります。

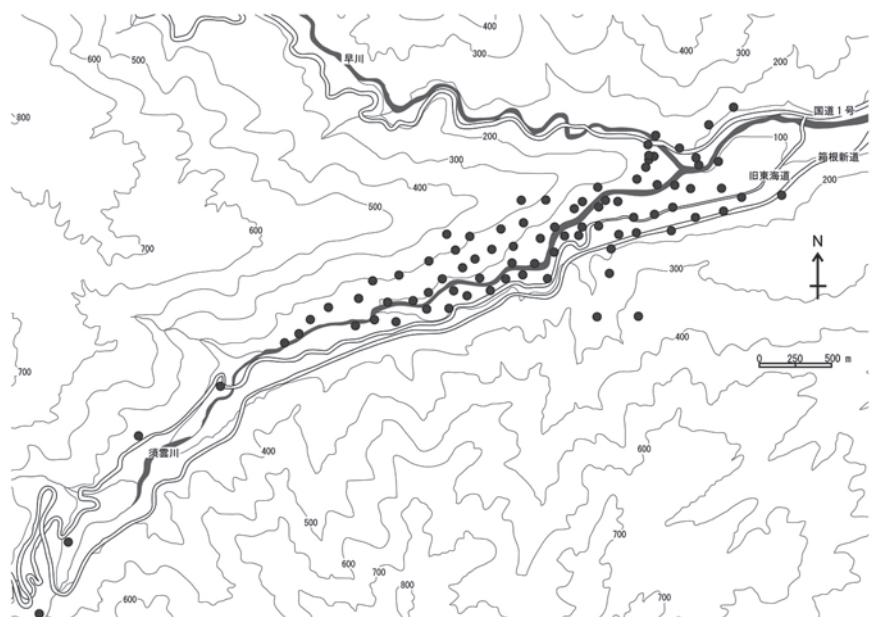


図 2 箱根湯本温泉の源泉分布。2006（平成 18）年現在。

あわせて旧湯本町の台帳に「湯本第 9 号」として登録されています。温泉台帳に「湯本」として登録されるのは、現在の行政区画では箱根町湯本、湯本茶屋、須雲川、畑宿そして塔之沢の住所に所在する温泉です。このうち、箱根町塔之沢に所在する源泉を塔之沢温泉と呼び、それ以外の行政区画の源泉を総じて箱根湯本温泉としています。

箱根で最も古い温泉である総湯（惣湯）は、県が管理する温泉台帳では湯本第 9 号に分類されます。最初に発見された温泉がなぜ 9 番目なのでしょう？温泉台帳には、温泉が掘られた順に新しい番号がつけられます。現在、箱根湯本では「湯本第 126 号」が最も新しい源泉です。しかし、番号付けが始まった 1930（昭和 5）年当時、既に存在していた源泉は、まとめて番号付けがされました。総湯（惣湯）を第 1 号にしなかった理由は、最もおめでたい数字である 9 を割り振ったという説や、熊野神社の例祭が 9 月 9 日だから 9 にしたなどと考えられています。本当のところはよく判っていません。

鎌倉時代や室町時代にも箱根湯本温泉で湯治が行われていたという史料が残されていますが、江戸時代になると湯宿が整備され、関東各地か



写真 1

箱根温泉発祥の地の記念碑。箱根で最初に発見された源泉は湯本第 9 号源泉として今も現役です。

ら湯治客が訪れるようになりました。

1811（文化 8）年に著された「七湯の枝折」は、現在の温泉旅行ガイド書のようなものです。そこには、箱根湯本温泉の特徴として、感覚は「冷湯にして気味なし」、効能は「脚気、すじけ、骨痛、痔疾、瘡毒」などと書かれています。また、1886（明治 19）年に出版された「日本鉱泉誌」には、箱根湯本温泉は温度 37.8 の単純温泉と記載されています。

明治時代の中頃までは、箱根湯本温泉の源泉は総湯（惣湯）1 本だけでしたが、1890 年代（明治 25 年前後）に湯坂山の麓で横穴が掘削さ

れ、温泉が探し当てられました。これは、降雪時にも雪がなく湯気が立っているところに目をつけて掘り当てたものです。

大正末から昭和の初め頃には、豎穴の温泉開発が盛んに行われるようになり、鉄道の開通と相まって源泉数は急速に増加し、温泉台帳の整備された 1930（昭和 5）年には箱根湯本温泉の源泉数は 17 ヶ所となりました。その後、第二次大戦の影響により新しい温泉の開発はほとんど行われなくなりましたが、1950 年代（昭和 25 年以降）にはいと再び活発な開発が始まり、1958（昭和 33）年には源泉の数は 36 ヶ所



写真 2 横穴湧泉の入り口。

現在も利用されてる源泉の入り口です。明治時代に湯坂山の麓に掘られたものです。



写真 3 横穴湧泉の内部。

湯道を探しながら、ノミとタガネを使って人の手で掘られました。高さは人の背丈ほどあります。



写真 4 横穴を流れる湧泉。

中央に見えるのは泉温を観測するためのセンサーです。



写真5 熊野神社。温泉の神様として祭られています。紀伊の熊野権現から分霊されたといわれています。



写真6 湯場の風景。正面の湯本橋の袂には明治時代に馬車鉄道の湯本駅がありました。

にまで増加しました。その後も源泉数は増加を続け、2007（平成19）年には、源泉の総数は77ヶ所にまで増えています。

箱根湯本温泉の現状

箱根湯本温泉は、歴史が古だけでなく、国内で有数の温泉地である箱根温泉の中で最も大きく、箱根を代表する温泉場でもあります。

箱根湯本は、箱根火山の東端に位置し、首都圏から箱根に向かう交通の要となっています。新宿からは小田急小田原線が乗り入れ、特急ロマンスカーの終点にあたります。多くの観光客がここで箱根登山鉄道や路

線バスに乗り換え、箱根山へと登っていきます。また、マイカーで箱根観光を楽しむ人も、ほとんどが箱根湯本を経由して行きます。箱根湯本は、まさに箱根の玄関口といえるでしょう。そして、首都圏から日帰りも可能なほど近距離にありながら、豊かな自然に恵まれ、温泉に恵まれています。そのため、たくさんの人々が訪れるのです。

2007（平成19）年3月末現在、箱根温泉の源泉は全部で364ヶ所ですが、箱根湯本温泉はそのうち77ヶ所を占めています。また、温泉の湧出量は箱根温泉全体の22500L/minのうち4700L/min

と20%以上を占めています。また、箱根温泉全体の年間の宿泊者数は約430万人で全国第1位ですが、箱根湯本温泉の年間宿泊者数は100万人を超え、箱根温泉全体の25%を占めています。

箱根湯本温泉の源泉は、海拔標高105～428mに掘削されています。井戸の深さは、最も深いものでは地表から1500mあります。2006（平成18）年に箱根湯本温泉の60ヶ所を調査した結果から平均値をみると、温度は51.2、揚湯量は1分間に66リットルでした。箱根湯本温泉では、1980年頃までは、温泉の動力装置としてエアリフトポンプ



写真7 須雲川を渡る共同マイクロバス。湯本駅と各旅館の間を送迎しています。

項目	平均値	表1 箱根湯本温泉の平均値。2006（平成18）年の調査による60源泉の平均値です。
温度（℃）	51.2	
揚湯量（L/min）	66.	
pH	8.5	
電気伝導度（ $\mu\text{S}/\text{cm}$ ）	1315.	
ナトリウムイオン（mg/L）	222.	
カルシウムイオン（mg/L）	46.8	
塩化物イオン（mg/L）	310.	
硫酸イオン（mg/L）	132.	
炭酸水素イオン（mg/L）	60.	
珪酸イオン（mg/L）	64.8	
メタリン酸イオン（mg/L）	14.1	
成分総計（mg/L）	855.	



写真8 玉簾の滝。箱根火山の基盤岩と新期外輪山の溶岩との間から水がわき出ています。1891(明治24)年に「滝の前遊園」として整備され人気を博しました。

が一般的でした。エアリフトポンプは、温泉の井戸に空気を送り込み、温泉を空気と混ぜて汲み上げる方法で、構造が単純なため壊れにくく、高温の温泉を汲み上げるのに適しています。その後、技術の進歩やさらに深い温泉を汲み上げるため、水中ポンプの利用が増加し、現在ではエアリフトポンプと水中ポンプの使用割合は、ほぼ同数となっています。

箱根湯本温泉の大部分の地域は、温泉を保護するための保護地域に指定され、現在は新しい源泉を掘削することができなくなっています。温泉は無限ではなく有限な資源です。古くから親しまれてきた温泉を、枯らさずに、これからも大切に使うためには、このような規制も必要なのです。

箱根湯本温泉の泉質

箱根湯本温泉は、早川凝灰角礫岩など箱根火山の基盤岩から汲み上げられています。箱根湯本温泉で汲み

上げられる温泉の泉質は何種類ありますが、アルカリ性単純温泉が最も多く、次いで単純温泉が多くなっており、これらで箱根湯本温泉全体の70%以上も占めています。それ以外には、ナトリウム・塩化物泉、ナトリウム・カルシウム・塩化物・硫酸塩泉、ナトリウム・塩化物・硫酸塩泉、ナトリウム・カルシウム・塩化物泉などが汲み上げられています。

温泉の成分の割合からみると、湯坂山の南側斜面や湯本茶屋の近辺では塩化ナトリウムの割合が高い温泉が多く、箱根湯本温泉の南東側の源泉からは塩化ナトリウムに加えて石膏の割合も高い温泉が汲み上げられています。また、湯場で汲み上げられている温泉は塔之沢温泉と成分の割合がよく似ており、泉質からは、湯場は塔之沢温泉と同じグループに

まとめられます。このように温泉成分の特徴からみると、箱根湯本温泉と塔之沢温泉は、「塔之沢温泉と湯場の源泉」、「湯坂山南斜面と湯本茶屋近辺の源泉」、「早川と須雲川の合流地点南側や古期外輪山北斜面の源泉」、「住所が須雲川と畑宿にある源泉」の大きく4つに分類でき、それぞれ温泉のでき方が異なっています。

おわりに

今回は箱根湯本温泉について簡単に紹介しました。次回は、箱根湯本温泉から国道一号線で少し上がったところにある塔之沢温泉について紹介したいと思います。お楽しみに。

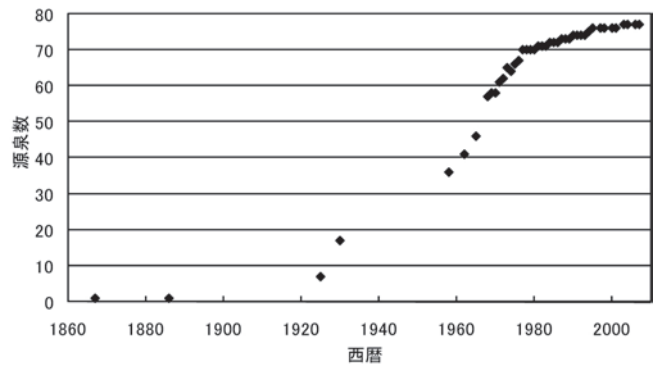


図3 箱根湯本温泉の源泉数の推移。

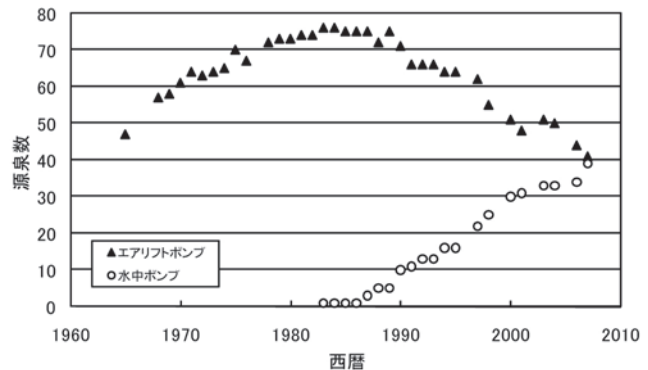


図4 箱根湯本温泉の動力装置の推移。このほかに渦巻きポンプを利用している源泉も数源泉あります。